

単  
元  
名

# 「四季が丘絆プロジェクト③」

## ～土砂災害を知り、地域を守ろう～

本単元で育成する資質・能力

課題発見力, 思考力・判断力・表現力, 主体性, 自己肯定感

- 1 日 時 平成28年11月2日(水) 5校時
- 2 場 所 5年2組教室
- 3 学年・学級 第5学年2組 男子13名 女子13名 計26名
- 4 単元の構想

## (1) 児童の実態

本学級の児童は、1学期に総合的な学習の時間「廿日市の魅力を伝え隊」の学習において、自分たちの住む廿日市について調べ、調べたことをリーフレットにまとめ、野外活動で北広島の方に伝える学習を行っている。1学期の学習を通して、自ら課題を設定し、情報を収集し、まとめ、相手に伝えるという学習のサイクルを経験していると言える。

本校で育成する「資質・能力」についてのアンケート結果は次のとおりである。(10月初旬実施)

資質・能力	質問項目	肯定的回答率
課題発見力	授業では、「なぜだろう」、「どうして〇〇なのかな?」と、はてなを見つけています。	76.9%
思考力 判断力	授業では、調べたことを、比べたり、仲間分けしたり、関係を見つけたりして、何が分かるのかを考えています。	80.8%
表現力	授業では、自分の考えとその理由を相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	80.8%
主体性	授業では、自分の考えを進んで友達に伝えています。	69.2%
自己肯定感	学習のふり返しをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	92.3%

アンケート結果から、「自己肯定感」に関する項目が92.3%であり、授業の振り返り等で、自己の成長を感じ、次の学習へ意欲をもつことができていることがわかる。また、「思考力・判断力・表現力」に関する項目は、共に80.8%であり、情報の比較・分析や、表現方法の工夫を大体の児童が意識して行っていることがわかる。しかし、「主体性」に関する項目が69.2%に留まっており、このことから、まず自分の考えをきちんともち、それを自信をもって相手に伝えていくことに課題があると考えられる。

「基礎・基本」定着状況調査の質問紙の「課題発見・解決学習」の結果では、「情報の収集」に関する内容の肯定的評価が6割前後と他の項目に比べて低く、必要な資料を進んで集めたり、目的に応じた情報収集の方法について考えたりすることに課題があることが分かった。

総合的な学習の時間についての事前アンケート結果は次のとおりである。(10月初旬実施)

これまで経験した調査方法	回答率	これまで経験した情報整理の方法	回答率	調べたことを伝えたい相手	回答率
インターネット	84.6%	情報と情報を関連付けて考える。	53.8%	他学年の児童	61.5%
本	69.2%	情報をグループに分けて考える。	46.2%	家族	30.8%
インタビュー	30.8%	情報を比較して考える。	42.3%	地域の人	11.5%
アンケート	15.4%	情報をランキングして考える。	26.9%		

アンケート結果から、これまで経験した調査方法は、インターネットや本が多く、インタビューやアンケート調査は少ないことが分かる。また、情報整理の方法については、情報のランキングや比較の経験が少ないことが分かる。調べたことを伝えたい相手は、他学年の児童が半数以上を占めているが、家族や地域に向けて伝えたいという児童は少ない。このことから、外部への発信の経験が少ないと考えられる。

本単元の内容についての事前アンケート結果は次のとおりである。(10月初旬実施)

質問項目	肯定的回答率
防災は地域にとって大切だと思う。	100%
土砂災害への四季が丘の取組について知っている。	38.5%
土砂災害への廿日市市の取組について知っている。	26.9%
四季が丘の家庭は土砂災害に備えていると思う。	57.7%

アンケート結果から、本学級の児童は防災は地域にとって「大切だ」と感じているが、自分たちの地域や市が実際にどのような取組をしているかは知らない児童が多いことが分かる。また、「四季が丘の家庭は土砂災害に備えていると思う。」の項目では、肯定的回答は約半数に留まっており、自分たちの地域の防災に対する意識や取組について、児童は疑問に感じていると言える。

## (2) 単元について

四季が丘は、山を切り拓き、昭和62年に分譲を開始した団地である。土砂災害の危険性を想定して、地域には5基の砂防堰堤さぼうえんていが設置されている。大規模住宅団地の背後における短期集中的な砂防堰堤群の整備、また環境・景観に十分配慮した工事の実施、「小学校への出前講座」、「発生土を用いた小学校でのピオトープ作り」など地域と良好な関係を築いての工事の完成を大いに評価され、平成23年度に、宮園・四季が丘地区砂防事業が全建賞(全日本建設技術協会主催)を受賞した。また、防災の取組については、平成16年に四季が丘地区自主防災連絡協議会が発足し、防災マップの作成や防災ウォーキング、全町内会での防災訓練、大学教授による防災講演会など、自主防災活動が継続的に実施されている。平成26年からは、市と連携し、「チャレンジぼうさいin四

季が丘」を立ち上げ、「災害」・「まち」・「ひと」を知ることが『防災』に繋がることを伝え、地区住民の防災意識の底上げに取り組んでいる。

第5学年では、社会科「さまざまな土地の暮らし」、理科「台風と気象情報」、「雲と天気の変化」、「流れる水のはたらき」の学習で、気候と自然災害の関係、気象情報の読み取り方、水による災害が起きるメカニズムなどについて学習している。

そこで、本単元「四季が丘絆プロジェクト③～土砂災害を知り、地域を守ろう～」を設定し、自分たちの住む地域に身近な災害である土砂災害を取り上げ、教科での学習を生かしながら土砂災害をめぐる問題を発見し、主体的に自分たちなりの解決方法を見出すことができるようにする。

指導に当たっては、児童の「主体性」を育むため、児童が自分の考えをきちんともつことができるように、個人で考える時間、書く時間を大切にしていける。また、自分の考えを自信をもって伝えさせるために、ペアやグループでの考えの共有や、よい考えを認め合う活動を取り入れていく。また、情報の収集のサイクルでは、本やインターネットで基本の情報を集めさせ、その後専門家にインタビューをしたり、外部へのアンケート調査をしたりする機会を設定する。収集した情報は、ランキングや、マトリクスシートを用いた比較をして整理させる。実行のサイクルでは、家庭や地域に向けて発信することができるように意識させていく。

本単元の学習を通して、地域の「主体者」であることを児童それぞれが認識し、地域への参画意識をもって生活していく態度を育てたい。

## 5 単元の目標

土砂災害について調べる活動を通して、土砂災害のメカニズムや必要な備えなどについて考え、地域の課題に気づき、その解決の実現に向けて実践しようとする態度を育てる。

## 6 単元で育成しようとする資質・能力及び態度

学習方法				自分自身	他者や社会
課題発見力	思考力	判断力	表現力	主体性	自己肯定感
対象と積極的にかかわる中で、課題を発見する。	収集した情報を思考ツールを活用して整理・分析して考える。	事実や根拠をもとに、自分の考えを結論付ける。	相手や目的に応じて伝えたいことを適切かつ効果的に表現する。	自分の思いや願いの実現に向けて、行動する。	友達や地域、社会などとの積極的なかかわりの中で、自己の学びのよさや成長を自覚する。

## 7 単元で学ぶ内容

- 土砂災害のメカニズムや必要な備えなどの知識
- 土砂災害と自分たちの関わり
- 地域の「主体者」として課題の解決を目指した取組

8 単元の評価基準

スキル	学習方法	課題 発見力	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ウェビングを使って土砂災害に関する既知事項と疑問を出し、課題を設定している。</li> <li>② 土砂災害について調べたことをもとに、地域の人に聞きたいことを設定している。</li> <li>③ 振り返りをもとに、新たな課題を設定している。</li> </ul>
		思考力	<ul style="list-style-type: none"> <li>① KJ法で、土砂災害について調べたいことを分類している。</li> <li>② 地域の人に聞きたいことをランキングし、アンケートの内容について考えている。</li> <li>③ 考察したことをもとに、土砂災害をめぐる地域の問題の解決策を考えている。</li> <li>④ 「報告します！守ろうプラン（仮）」に必要な情報を図表やグラフ等に整理している。</li> </ul>
		判断力	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 土砂災害について調べたいことに合った方法を考え、調査計画を立てることができる。</li> <li>② アンケート結果を円グラフに整理し、わかることを考察している。</li> <li>③ 「報告します！守ろうプラン（仮）」を表現するために適した方法を出し合い、話し合っ決定している。</li> </ul>
		表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 調べたことを「土砂災害から地域を守ろうプラン（仮）」にまとめる</li> <li>② 「報告します！守ろうプラン（仮）」をビデオや意見文にして表現している。</li> </ul>
意欲 態度	自分 自身	主体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 土砂災害について、設定した課題に沿って情報の収集をしている。</li> <li>② 土砂災害をめぐる問題を解決するための情報を収集している。</li> <li>③ 「土砂災害から地域を守ろうプラン（仮）」を実行している。</li> <li>④ 「報告します！守ろうプラン（仮）」に必要な情報を収集している。</li> <li>⑤ 「報告します！守ろうプラン（仮）」を自分たちが選んだ方法で伝えている。</li> </ul>
価値観 倫理観	他者 や 社会	自己 肯定感	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「土砂災害から地域を守ろうプラン（仮）」を実行した振り返りを行い、自己の成長を実感している。</li> <li>② 「報告します！守ろうプラン（仮）」を実行した振り返りを行い、自己の成長を実感している。</li> <li>③ 単元の学習を振り返り、自己の考え方の変化や成長を実感している。</li> </ul>

9 指導と評価の計画 (全35時間)

サイクル	学習過程	活動内容	時数	育てたい資質・能力 (評価方法)	各教科との 関連
「四季が丘絆プロジェクト③」 「土砂災害を知り、地域を守ろう」 (2学期)	課題設定	① 自分たちの地域に身近な災害である土砂災害について考え、ウェビングを使って知っていることを出し合う。	1	課題発見力① (ウェビングシート)	理科 社会
		② 土砂災害について調べたいことを出し合い、KJ法で分類する。	1	思考力① (KJ法シート)	
		③ 自分が調べたい課題を設定し、チームに分かれて調査計画を立てる。	2	判断力① (ワークシート)	
	情報収集	④ チームで各課題について本やインターネットで情報を収集する。	4	主体性① (ワークシート)	理科 社会
	課題設定	⑤ 調べたことをもとに、地域の人に聞きたいことを出し合い、KJ法で分類する。	1	課題発見力② (KJ法シート)	理科 社会 算数 国語
		⑥ 地域の人に聞くことを決定し、アンケートを作成する。	2	思考力② (ワークシート)	
		⑦ 学習発表会でフリップボード形式でアンケート調査を行う。(授業外)	2	判断力② (ワークシート)	
		⑧ アンケート結果を円グラフに整理し、結果からわかることを考察する。	1	思考力③ (発言、ワークシート)	
	情報収集	⑨ 考察したことをもとに、土砂災害をめぐる地域の問題の解決策について考える。 (本時)	3	主体性② (取材メモ)	理科 社会
	まとめ 創造 表現	⑩ チームに分かれ、土砂災害をめぐる問題の解決策を実行するための情報を収集する。	4	表現力① (制作物)	国語 算数
実行	⑪ 収集した情報をもとに、「土砂災害から地域を守ろうプラン(仮)」を作成する。	4	主体性③ (発言・観察)		
振り返り	⑫ 「土砂災害から地域を守ろうプラン(仮)」を実行した結果について振り返りをする。	1	自己肯定感① (ワークシート)	国語	
「3学期」	課題設定	⑬ 振り返りをもとに、「報告します！守ろうプラン(仮)」を次の課題として設定する。	1	課題発見力③ (ワークシート)	国語
	情報収集	⑭ これまでに調べてきたことをもとに、「報告します！守ろうプラン(仮)」に必要な情報を追加で収集する。	2	主体性④ (取材メモ)	理科 社会
	整理 分析	⑮ 「報告します！守ろうプラン(仮)」に必要な情報を図表やグラフ等に整理する。	4	思考力④ (ワークシート)	国語 算数
	まとめ 創造 表現	⑯ 「報告します！守ろうプラン(仮)」を表現するために適した方法を話し合う。 ⑰ ビデオ、意見文等で「報告します！守ろうプラン(仮)」を作成する。	1 3	判断力③ (発言・観察) 表現力② (観察・制作物)	国語
	実行	⑱ 「報告します！守ろうプラン(仮)」をまちづくりに携わる相手に伝える。(授業外)	3	主体性⑤ (発言・観察)	
	振り返り	⑲ 「報告します！守ろうプラン(仮)」を実行した結果について振り返る。	1	自己肯定感② (ワークシート・発言)	国語
⑳ 単元の学習を振り返り、次年度の学習の見通しをもつ。		1	自己肯定感③ (ワークシート・発言)		

10 本時の学習

(1) 本時の目標 (14 / 35 時間)

地域の人へのアンケート結果から考察したことをもとに、土砂災害をめぐる地域の問題の解決策について考えることができる。

(2) 準備物 前時までの制作物、ワークシート、ホワイトボード、付箋、座標軸シート、マジック

(3) 本時の展開

過程	時間	学習活動 予想される児童の発言・思考	指導上の 留意事項	評価について (評価方法)
課題の設定	5分	<p>1 前時までの学習を振り返り、土砂災害をめぐる地域の問題を整理する。(全体)</p> <p>① 土砂災害について知らない。 ② 地域の訓練に参加していない。 ③ 防災グッズを準備していない。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。(全体)</p> <p>㊦土砂災害をめぐる地域の問題の解決策について考えることができる。</p>	<p>・前時までの制作物をもとに確認する。</p> <p>・児童の発言からめあてをつくる。</p>	
情報の収集	15分	<p>3 解決策を考え、ワークシートに書く。(個人)</p> <p>T 問題の解決策を考えて書いてみましょう。 知らせるために C 土砂災害について知らせるチラシを作る。 C とんど祭りで土砂災害について知らせる。 訓練参加のために C 防災のキャラクターをつくる。 グッズ準備のために C 防災グッズを準備する日をつくる。</p>	<p>・個人で書く時間を取り、考えさせる。 &lt;各教科との関連&gt; 国語科：「資料を生かして考えたことを書こう」</p>	
整理・分析	15分	<p>4 グループで解決策を出し合い、ホワイトボードにまとめ、解決策について、「有効か」、「クラスだけでできるか(学校、地域の協力が必要か)」という2つの視点で検討する。(グループ)</p> <p>T グループで、座標軸を使って解決策を整理しましょう。</p>	<p>・1つの問題に絞ることで、具体的に考えられるようにする。</p> <p>・座標軸で検討することで解決策を比較して考えることができるようにする。</p>	<p>◆思考力③ (発言、ワークシート) 考察したことをもとに、土砂災害をめぐる地域の問題の解決策について考えている。</p>

<p>まとめ</p>	<p>5分</p>	<p>5 グループで検討した結果について交流する。(全体)</p> <p>C チラシ作りはクラスだけでできるけど、読んでくれるかわからない。</p> <p>C とんど祭りで知らせるのは効果があるけど、地域の協力が必要だ。</p> <p>C 防災グッズを準備する日をつくるのは、効果がある。</p>		
<p>振り返り</p>	<p>5分</p>	<p>6 本時の振り返りをする。(個人, 全体)</p> <div style="border: 2px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>地域の問題の解決策を考えることができた。ただ、効果を高めるための工夫や、地域や学校の協力が必要なこともわかった。どうすれば実現できるか考えていきたい。</b></p> </div>	<p>・自己の変容に気付いている振り返りを認める。</p>	